

平成25年度の輸送実績（速報）

平成26年4月

1. 輸送概況

平成25年度は、8月から10月にかけて大型台風の接近・上陸に伴う輸送障害、函館線において貨物列車の脱線事故が2回発生した他、2月には東日本の太平洋側での記録的な大雪の影響を強く受け、年度全体では高速貨1,730本、専貨57本が運休した。（平成24年度は、高速貨1,534本、専貨36本が運休。）

荷動きについては、上期は、自然災害の影響もあり、ほぼ前年並みで推移したものの、下期に入り、景気回復や円安、消費税増税前の需要の盛り上がりにより国内生産が好調に推移し、年度全体では前年を上回った。

コンテナ貨物は、自動車部品が現地調達化の進展により前年を下回ったものの、国内生産増に消費税増税前の需要増も加わった化学工業品、化学薬品、食料工業品、紙・パルプ等が前年を上回った。また、専用列車の運行開始等により増送となった積合せ貨物が前年を大きく上回り、コンテナ貨物全体では前年比104.9%となった。

車扱貨物は、一部顧客が、昨年7月から山口線の一部区間が線路不通となっていることから減送となったものの、セメント・石灰石が顧客の生産体制変更に伴い増送となり、車扱貨物全体では前年比100.2%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	平成25年度		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	21,519	20,519	104.9%
車扱	9,491	9,472	100.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年度実績	前年度実績	増減	前年度比
コンテナ	農産品・青果物	1,857	1,846	11	100.6%
	化学工業品	2,057	1,942	115	105.9%
	化学薬品	1,480	1,412	68	104.8%
	食料工業品	3,286	3,103	183	105.9%
	紙・パルプ	3,273	3,016	257	108.5%
	他工業品	1,620	1,654	-34	98.0%
	積合せ貨物	2,295	2,069	226	110.9%
	自動車部品	900	935	-35	96.3%
	家電・情報機器	483	481	2	100.3%
	エコ関連物資	466	457	9	102.1%
	その他	3,804	3,605	199	105.5%
	コンテナ計	21,519	20,519	1,000	104.9%
車扱	石油	6,387	6,428	-41	99.4%
	セメント・石灰石	1,449	1,329	120	109.0%
	車両	926	915	11	101.1%
	その他	729	799	-70	91.3%
	車扱計	9,491	9,472	19	100.2%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年度は速報値、前年度は確報値)